

## 事業所における自己評価結果（公表）【児童発達支援事業】

公表：令和5年4月14日

事業所名：合同会社ふたば

児童発達支援・放課後等デイサービスふたば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	○利用者数に応じ児童を分散し療育している。	○今の状況は適切であるが、今後人数の増加にともない療育スペースの改良、スペースの使い方等検討する。
	②	職員の配置数は適切である	83%	17%		○適切ではあるが、利用者の多い時間帯については職員の追加を検討する必要があり、3名程度の保育士・指導員採用を目指す。 ○利用者が落ちた状態で活動できるよう利用者が多い時間帯で人員不足が予測される時は特に職員の協力体制を十分整え対応する。また、個々のスキルアップに努める。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	○玄関をはじめバリアフリー化した施設作りを行い、トイレに関しても障害や年齢に応じた設備にしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	83%	17%		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	67%	33%	○月に1時間以上朝礼とは別に全体会議を行い、業務改善に努めている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	33%	67%		○今後実施していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17%	83%		○今回が初の評価だったので、今回の評価結果より実施していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		○今後第三者からの評価の検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	○外部支援によるeラーニングを含めた動画研修を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	○独自の事前調査表等を用い定型的なアセスメントを行う。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%	○支援ソフトHUGを利用。 ○保護者に事前に児童の様子がわかる定型のアンケートをとっている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	67%	33%		○地域支援は支援内容にないので今後検討する。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	83%	17%		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	○週替わりのプログラムを作成しHP等に公表し実施している。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	67%	33%		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	○当日終礼で共有できない場合においても翌日の朝礼で共有するよう徹底している。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%		
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%		○現在は決められた期間によるモニタリングの実施は行っているが今後は利用者の個別の変化に応じてモニタリングの実施も検討していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	83%	17%	○積極的に担当者会議への参加を呼び掛けている。 ○極力行きようにしていくが、難しい場合は情報共有を電話等で十分行っている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		○今後検討していく。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		○該当児童が無いため今後該当する場合実施する。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		○該当児童が無いため今後該当する場合実施する。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%		○今後行っていきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17%	83%		○保護者の要望により適宜対応している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17%	83%		○今後行っていきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	○直接説明できない場合であっても支援ソフトHUGを利用し情報共有を行っている。	
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	17%	83%	○ペアレントトレーニングは行っていないが公認心理師によるアドバイスを行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	83%	17%	○契約時に契約書・重要事項説明書の説明に1時間程度かけ丁寧に説明している。	
	㉑ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	83%	17%		
	㉒ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	50%	50%	○直接できない場合であっても支援ソフトHUGを利用し相談ができる機会を作っている。	○今後、保護者会を通じて集団での相談会を検討している。
	㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%		○令和5年4月から毎月1回保護者会を開催していく。
	㉔ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	67%	33%	○直接できない場合であっても支援ソフトHUGを利用し相談ができる機会を作っている。	
	㉕ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	○毎月「ふたばだより」を発行し、当月の利用状況、次月の予定等を周知している。これらはHPにより公開している。	
	㉖ 個人情報の取扱いに十分注意している	67%	33%		○写真の取扱いについて社員それぞれが今後も情報漏洩に十分注意し管理する。
	㉗ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	○視覚的支援を積極的に取り入れている。	
㉘ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		○今後行うイベント等で交流を広げていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	33%	67%	○各マニュアルについては職員には見やす場所に保管、保護者には契約時に配布やHPに掲載し周知している。	○訓練については今後行う予定
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17%	83%		○定期的な避難訓練を計画する。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	33%	67%	○契約時の事前調査シートにより各種情報を収取している。	○服薬や予防接種の状況を確認する。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	33%	67%		
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	83%	17%		○必要に応じ対応していくが、現在は無い。